

総合的な学習の時間

1 目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2 評価の観点及びその趣旨

総合的な学習の時間の評価においても、観点別の学習状況評価を基本とする。評価の観点は、各学校において定めた目標、内容、資質、能力及び態度を踏まえて設定する。

その際に、次の①～③の例を参考にしながら、それぞれを組み合わせたたり具体化したりして、各学校に応じた観点を設定する。

なお、①～③の例の特徴や配慮事項については、「総合的な学習の時間における評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校）」（国立教育政策研究所）p.3～5を参考にする。

○ 各学校が設定する評価の観点例

①学習指導要領に示された総合的な学習の時間の目標に基づいた観点例	
「よりよく問題を解決する資質や能力」 「学び方やものの考え方」 「主体的、創造的、協同的に取り組む態度」 「自己の生き方」 等	
②学習指導要領に示された「学習方法に関すること」「自分自身に関すること」及び「他者や社会とのかかわりに関すること」などの視点を踏まえて設定した、資質や能力及び態度に基づいた観点例	
〈例1〉 「学習方法」 「自分自身」 「他者や社会とのかかわり」等	〈例2〉 「課題設定の力」（学習方法） 「情報収集の力」（学習方法） 「将来展望の力」（自分自身） 「社会参画の力」（他者や社会とのかかわり）等
これらをさらに具体化して	
③各教科の評価の観点との関連を明確にした観点例	
学習にかかわる「関心・意欲・態度」 「思考・判断・表現」 「技能」 「知識・理解」等	

3 改訂のポイント

- 問題解決的な学習が発展的に繰り返されていくよう、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という一連のプロセスをもった探究的な学習となることを目指す。
- 問題の解決や探究活動の過程において、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動を行う。
- 問題の解決や探究活動の過程に、人や社会、自然にかかわる直接的な体験活動を適切に位置付ける。
- 学習の過程において、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの言語活動を適切に位置付ける。
- 小中学校間の連携を密接に行い、学校段階間で取組の重複がないように配慮する。

4 評価規準と展開例

全体計画の作成については、次を参照する。

・「中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」（文部科学省）p.59～61
 ・「今、求められる力を高める総合的な学習の展開（中学校編）」（文部科学省）p.64～75

1) 単元名 第2学年

職場体験学習 ～働くということを経験して調べてみよう～

2) 単元の概要

① 単元のねらい

全体計画の「目標」「内容」「育てようとする資質・能力及び態度」を踏まえ、中核となる学習活動を基に構成する。

地域で働く人々の仕事に対する思いや願いについて調べてまとめたり、職場体験活動等を通して生じた関心や疑問を探究したりすることで、働くことの意義や自分に対する理解を深め、自分の生き方について考える。

② 単元で育てようとする資質や能力及び態度

全体計画の「育てようとする資質や能力及び態度」の中で、本単元を通して育てようとする項目を観点ごとに記述する。

【学習方法に関すること】

ア 体験活動等を通して課題意識をもち、適切に課題を設定する。

イ 情報収集したことがらを整理したり分析したりして、自分の考えをもつ。

【自分自身に関すること】

ウ 自分の生き方について目標をもつ。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

エ 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する。

全体計画の「内容」から記述する。

③ 単元で学ぶ内容

ア 地域で働く人の存在とその思いや願い、働くことの意味

イ 自分を理解したり、夢や希望を実現したりするための多様な取組や将来設計

3) 単元の評価規準

学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会に関すること
① 「働くこと」についての自分の考えと地域の人の講話から得た情報を比べ、ズレや疑問を基に課題を設定している。 【②ア, ③ア】	① 自分の夢や希望を実現するための取組について考えたり、将来の生き方について目標を立てたりしている。 【②ウ, ③イ】	① 自分の考えをまとめるために、地域の方や友だちの様々な考えや意見を聞き、受け入れている。 【②エ, ③ア・イ】
② 職場体験の事前準備や職場体験活動をもとに「働くこと」について自分の考えを整理している。 【②イ, ③イ】		

※ 評価規準については、「単元で育てようとする資質、能力、態度」と「単元で学ぶ内容」の両面から設定する必要がある。各観点到即して、②のア～エ及び③のア、イを必要に応じて組み合わせ設定する。

4) 単元計画と評価計画 (全 45 時間)

学習活動	時数	教師の指導・支援	評価			他教科等との関連	
			学習方法	自分自身	他者社会		
【働くってなんだろうⅠ】 ○「働くこと」についての自分の考えと地域の人の講話から得た情報を比べ、課題を設定する。 ・「働くこと」について、自分の考えを明らかにする。 ・ゲストティーチャーから職業についての講話を聞く。 ・図書館資料等を活用し、興味のある職業や働くことについて調べる。 ・聞いたり調べたりしたことから疑問を拾い出して、それを基に自分の課題を設定する。 ○自己の課題解決に向けて目標を立てたりしながら、事前準備を行う。 ・「夢発見カード」の作成を通して、職場体験に対する目標をもつ。(本時 1 / 2) ・担任との面談を通して体験先を決定する。 ・職場でのマナーやふるまいについて学ぶ。 ・電話等で事前打ち合わせを行う。	10	・ブレイン・ストーミングにより自分の考えを表出させる。 ・複数のゲストティーチャーによるポスターセッション形式で実施する。 ・図書館やインターネットを活用し、多様な情報の収集・整理・分析の仕方を指導する。 ・作成した情報カードを活用させる。	①	①	①	振り返りシート 課題設定シート	
・「夢発見カード」の作成を通して、職場体験に対する目標をもつ。(本時 1 / 2) ・担任との面談を通して体験先を決定する。 ・職場でのマナーやふるまいについて学ぶ。 ・電話等で事前打ち合わせを行う。	課外	・課題設定シートをもとにして、希望する職種を選択させる。 ・「夢発見カード」を作成させ、自分の夢や目標意識を明確にさせる。 ・模擬採用面接として緊張感をもたせる場づくりをする。 ・「夢発見カード」を用いて生徒が自分のねらいや考えを明確に話せるよう、事前の準備をしっかり行わせる。 ・外部講師の講話により電話の対応や礼儀等、ふるまいの意識を高める。 ・体験に必要な準備物や時間等を確認させる。	①	①	①	ワークシート 「夢発見カード」	学活(職業)
【働くってなんだろうⅡ】 ○職場体験を行い、働く喜びや苦勞を知り、まとめたものをポスターセッションにより発表する。 ・職場体験を行う。 ・職場体験の記録をまとめる。 ・自己設定した課題を踏まえて、体験したことを分かりやすくまとめる。	31	・事前から事後までの一連の中で、体験先や保護者と連絡を取り合い、情報を共有する。 ・体験先を訪問し、生徒の変化を観察し、見守りや励ましを行う。	①	①	①	行動観察	
・職場体験の記録をまとめる。 ・自己設定した課題を踏まえて、体験したことを分かりやすくまとめる。	(1)	・保護者や事業所からの評価を併せて行わせる。	②	①	①	行動観察 作成物	国語科 「話すこと・聞くこと」
・自己設定した課題を踏まえて、体験したことを分かりやすくまとめる。	(3)	・KJ法を用いてグループごとに学んだことをもとにして、働くことについての考えを整理させる。	②	①	①		

・発表会を行う。 指 他学年や保護者・事業所の方々等を招くことを想定した計画にする。	(2)	・グループごとのポスターセッションとして聞いてもらい、意見や感想を聞かせる。				道徳 1-(5) 2-(1)
【働くって何だろうⅢ】 ○これからの自分を考える。 ・ポスターセッションのまとめをする。 ・職場体験先に礼状を書く。 ・学習を振り返りこれからの自分を考える。	4 (1) (2) (1)	・これまでのワークシート等を基に、働くことについて自分の考えをまとめ、礼状として言語化させる。 ・これからの学習や生活等に向け、具体的な目標等を考えさせる。	②	①	礼状 振り返りシート	道徳 4-(5)

5) 本時の活動

- 本時のねらい (第 1 次 6 時 / 10 時)
 - 自分の夢や希望と課題を考えながら、職場体験活動で追究する取組を考える。 【自分自身に関すること】
- 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価(評価方法)
1. 前時までの活動を振り返り、職場体験活動への意欲をもつ。 ・本時の活動を確認する。	○課題設定シート等から、前時までの活動を振り返ることができるようにする。(ポートフォリオ:本誌 p.73 を参照)	指 「ワークシート」は、前時までの記入事項に加え、本時で記入する事項(自分の夢や希望、活動のねらい等)を追加できるように工夫したデザインにしておく。 ☆自己の夢や希望、課題を見つめ、職場体験活動で追究する取組を考えている。(ワークシート) 評 自分で調べたことや講話等を参考にして考えているか。
職場体験活動の見通しをもとう。		
2. 職場体験活動を通しての取組の見通しを明らかにする。 ・職場体験活動で学習したいことや解決したいことを整理する。 ・職業調べ、自分の興味や課題を基に、希望する職種を選択する。	○課題設定シートを用いて自分の夢や希望と関連させ、何のために、何を学びたいか、自分の目的や課題をはっきりさせる。 ○学級活動「働く意義を考える」の学習内容を振り返らせ、自分の考えを整理する上での参考にさせる。 ○体験できる職種(受け入れ事業所等)一覧を示し、選択の参考にさせる。	
3. 職場体験で行いたい取組等について紹介し合う。 ・ワークシートを用い、職場体験活動を通して学びたいことなどを互いに紹介する。	○同じ職種を選択した生徒でグループを構成し、紹介を行わせる。	
4. 次時の学習について知る。	指 考えを伝え合う指導をする際は、①いろいろな考えや意見があることに気付かせること②それらの考えの根拠等の違いに気付かせること③それぞれの考えの異同を整理して、更に自分の考えを発展させることなどに留意する。 ○ワークシートを基に「夢発見カード」を作成し、担任との面談への準備を行うことを伝える。	

- 本時の評価 (おおむね満足と判断される生徒の具体例)
 - 自分の夢と課題を考えながら、職場体験で学びたいことや目標などをワークシートに整理している。 【自分自身に関すること】

評 評価を学習活動の終末だけでなく、事前や途中で適切に位置付けることが大切である。

指 カードやクリップに課題を取り出して序列化したり、ウエビンを活用したりして可視化を図り、整理に役立てる。

指 自己の夢や希望だけでなく、職場体験のねらいや自己の課題を基に、体験を通して身に付けたいことや学びたいことを明記できるようにカードを工夫する。

指 情報カードの作成の仕方と整理の仕方を指導する。

指 課題を設定する際に、足りない情報があればメールや電話等で情報を収集させる。

指 考えを伝え合う指導をする際は、①いろいろな考えや意見があることに気付かせること②それらの考えの根拠等の違いに気付かせること③それぞれの考えの異同を整理して、更に自分の考えを発展させることなどに留意する。

☆自己の夢や希望、課題を見つめ、職場体験活動で追究する取組を考えている。(ワークシート)

評 自分で調べたことや講話等を参考にして考えているか。